

中間まとめに対する意見募集の結果

「新京都市循環型社会推進基本計画（仮称）策定に向けた提言について 中間まとめ」の意見募集を、平成 21 年 7 月 21 日から 8 月 20 日まで 1 ヶ月間実施しました。集まった意見の件数、概要については以下のとおり。

1 実施概要

実施時期：平成 21 年 7 月 21 日から 8 月 20 日まで

提出方法：郵送，FAX，電子メール等

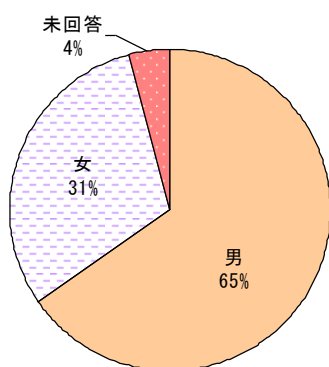
提出者数：121 人

意見総数：242 件

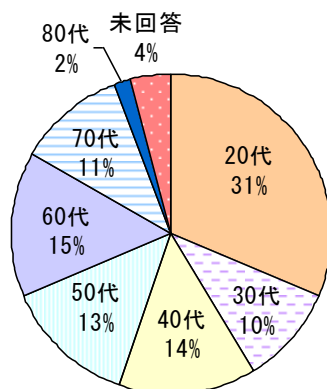
※一人の方が複数の意見を述べている場合は、それぞれの意見を 1 件として数えた。

意見提出者の属性については、以下のグラフに示すとおり。

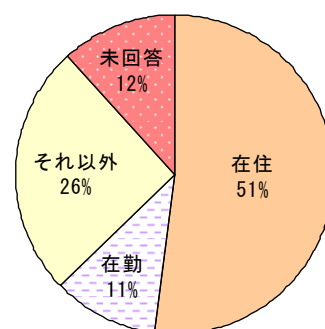
＜男女別割合＞



＜年代構成比＞



＜市内在住在勤状況＞



2 提出意見の概要

提出された意見を、各意見がごみの発生から処理の工程のうち、どの分野に関連したものであるか、以下に示す5つの区分に整理した。分別・リサイクルに関する意見が全体の約半分を占め、市民の関心が高い。これに続き、発生抑制・再使用に関する意見、意識啓発・環境教育、適正処理・エネルギー回収の順となっている。また、その他の内容として、「指定袋は価格が高すぎる」といった家庭ごみの有料指定袋制についての意見等があった。

① 発生抑制・再使用	32 件（13%）
② 分別・リサイクル	112 件（46%）
③ 適正処理・エネルギー回収	14 件（ 6%）
④ 意識啓発・環境教育	27 件（11%）
⑤ 温暖化対策	7 件（ 3%）
⑥ その他	50 件（21%）

3 全提出意見

① 発生抑制・再使用	● 業者収集ごみはあまり減っていない。家庭ごみと同様、分かりやすい仕組みにしてほしい。 ● ペットボトルのリユースを考えていくべき。 ● ごみの減量は市民レベルでは限界がある。企業などにごみの元栓をしめていくように働きかけていかなければ、地球温暖化も公害問題も解決には遠い。 ● 2R・ボランティア活動に一定基準を定め、基準以上の積極的行動を取った企業については市長より優良事業所表彰、税金の免除など優遇措置を設置。逆に、消極的行動の企業は企業名の公開・環境税・環境研究費などの名目の賦課金の徴収など厳罰を求める。環境負荷低減の研究開発の促進（産学公の連携）。 ● 本当にごみを減らそうとするならもっと国レベルでの取組みが必要である。議会中継などみても、ペットボトルのお茶を飲んでいるが、少し前までは、湯のみであった。そんな部分にも努力が見られないと一市民レベルでは思ってしまう。 ● ごみを減らすことに取り組んでいる人の紹介をしてほしい。 ● ごみの減量モニターを募集し、実践してもらうのはどうか。 ● 売る側が、食品の簡易包装について工夫していく必要があると、見学したことで痛感した。 ● 市民1人1人が、「ごみを出さない」という生活を目指す意識が必要。 ● ごみ減量と言いながらも、矛盾点が多い。 ● 食品業界・飲食業界の「手付かず食品」の大量廃棄対策として、計画的な販売計画をたててごみ減量化を真剣に検討し、各事業者へ削減の計画の提案書を求めて指導、罰則も定めるべき。 ● 食糧品のバラ売りの促進（商店に対して） ● 3R→2Rへ、京都市は処理工場が不足していると思う。 ● 量的にも分別的にも出す方が気をつけて出さなければいけないと改めて感じた。 ● 事業系のごみは京都市が処理しているごみの半数以上を占めていて、大きな課題であるにも関わらず、具体的な検討の経過、対応策、課題などについて資料には記述がない。他都市では事業系ごみの有料指定袋制導入は進んでいるので本市も同制度を導入すべきだ。 ● ごみの種類毎に指定袋制度を導入し大きく減量化を進めると共に、分別されたごみ毎の有効な循環利用について、具体的な実施計画に基づいた検討をお願いします。 ● トレー等食品の包装に使われているプラスチックごみの量が多い。対面式の販売での購入が理想であるが、非現実的でもある。食品の生産地等の商品を包装する材料の検討が必要だと思う。 ● 大型ごみを無料で引き取り、きれいに修理して使用可能な状態にして抽選で希望者に無料で差し上げるというシステムがあると聞いた。京都市もこのようなシステムを作ったらごみも少なくなると思う。
------------	---

① 発生抑制・再使用	• 各まち美化事務所に市民が不要なものを持ってきて頂いて、廃校等を利用して市が主催するフリーマーケットをボランティアで行ってもらう • リサイクル以前にごみの絶対量を少なくするには、消費者だけでなく企業、業者も含めた皆の協力が必要であると思う。 • 京都市のごみの量が減少傾向に向かっているが、業者収集ごみの変位がない。業者収集ごみはリサイクル、エネルギー変換もしにくいですが、このプロジェクトを推進するには、業者収集ごみに視点を变えて、何か打開策を考案するべきだと思う。 • 京都には多くの大学があるので、大学と協力してこの取り組みを推進させていくべきだと思う。大学で行うべきごみの減量、リサイクルの取り組みのモデルを明示するべき。 • コンビニ弁当や百貨店の惣菜の容器を全てリユース食器にすれば、リサイクルよりもクリーンになると思う。容器コストも減るので価格も抑えられる。家庭ごみが一番多いので、そこに働きかけることが必要だと思う。 • ごみの分別やごみの削減に貢献することによって何らかの利益が発生する制度を作ってはどうか。（例えば量販店で用いられているようなポイント制など） • 更なるごみ減量を図るため、市民、事業者、京都市が連携した生活様式・事業活動の転換を図る上流対策の新たな仕組みづくりや、バイオマス資源の有効活用及び低炭素社会への取り組みを、より一層強化していく必要があると思う。 • 産業廃棄物に比べ、クリーンセンターの一般廃棄物の処理料金は安すぎると思う。処理料金を正当な価格にして、減量の動機付けにするべきだ。 • ごみの発生抑制、再利用、再使用が環境面だけでなく、経済的にもメリットになる料金設定など、制度面での促進支援制度の創設などを審議会として答申し、将来世代のために今出来る事を思い切って打ち出してほしい。 • リユースできない容器に対して税を課してはどうか（生分解性のものを除く） • リユース容器の比率に関して数値目標をたててはどうか。 • リユースできないものの流通量に上限を設けてはどうか。 • 容器の規格統一又は自社での容器回収をしてはどうか。 • リサイクルを促すために、市が開催しているフリーマーケットの出店料を無料にしてはどうか。他府県では無料のところもある。
-------------------	---

② 分別・リサイクル	• 新聞紙を、資源として定期的に排出できるようにしてほしい。 古紙回収業者は、通常、日中に回っており、外で働いている女性には対応できない。 • 分別したごみがどれだけリサイクルできているのか、市民にもっと見えるようにしてほしい。 • テレビのリモコンやウォークマンなどの小型電子機器を普通のごみとして捨てることに抵抗がある。環境先進都市にふさわしく、もっと分別を徹底すべき。 • 生ごみの堆肥化は、堆肥の需要も考えて行うべき。 • 具体的に分かりやすく分別方法を示してほしい。 • リサイクル率向上のためには、物量の確保が必要不可欠。家庭系と事業系の全体を視野に入れて、進めるべき。 • 医療廃棄物などもリサイクルできる技術を進める必要がある。 • 分別の基準をもっと明確にすべき。ステーションやエリアによって、ごみの排出量や分別精度が異なっている。 • ごみを分別することによるメリットを明確に市民へ伝えるべき。 • 折込広告のサイズを一定にする。 • 紙質を制限する。 • カン・ビン・ペットボトルを、各々別袋にすればよいのではないか。 • 京都市では、街路樹の剪定枝は裁断して燃やしていると聞いている。市民に還元する手立てを講じていただきたい。 • 市民への更なるリサイクル意識の向上という観点から考えると、いわゆる「アメ」が必要ではないか。各スーパーや小売店、商店街の一角などに計量器付のコンテナ等を設置し、持ち込まれた量に応じてポイントを付与、そのポイントは公共料金等に充当できるなどという方法はどうか。 • ごみ処理の原点は、やはり家庭における分別であり、細かく分ければ分けるほどリサイクルがし易くなり、リサイクル率も上がる。 • 家庭ごみを扱う一般廃棄物処理業者にだけ処理を委託するのではなく、産業廃棄物処理業者まで広げてリサイクルの方法を検討する。選択肢が増加し、リサイクルの向上に役立つと考える。環境への取り組み優先として思い切った施策が必要なのではないか。 • 地域・自治会・小学校を中心とした取り組みで、ペットボトル・ビン・缶・鉄くず・廃家電などを集めて、リサイクル業者に買ってもらい、活動資金として利用する方法はどうか。小学校の場合には、子供たちが中心となり、小さい時から意識を植え付けることもできる。 • 施設見学会を開催して処理業者におけるリサイクルの実態を知ってもらうことが必要ではないか。市民講座などで実施されているが、もっと活発に実施されたほうが良いと思う。 • 廃棄物のリサイクルを促進するためには、リサイクル事業に対しての公的な支援をもっと進めるべきである。例えば、リサイクル設備導入への補助金など。
-------------------	---

② 分別・リサイクル	● 京都市内における紙おむつは一般廃棄物として焼却処理されており、排出量は今後も増加傾向にある。自治体によっては、産業廃棄物として処理されることもある。今後この紙おむつの処理については、リサイクルすべきであると思うが、廃棄物処理法、リサイクルに向けた課題などあり、容易ではないと思う。処理方法の見直し（環境負荷の低い処理）が必要ではないか。 ● 家庭での分別をさらに高めていくために、分別意欲を向上させるための具体的なリサイクル方法をこれまで以上にPRしていく必要がある。 ● 学生マンションや各大学への積極的な分別の働きかけを行い、ごみの分別促進を行っていただきたい。学生がしっかりと環境問題に取り組んで、環境負荷低減へ貢献していることを誇れる京都にしていきたい。 ● 一般廃棄物処理業者だけでなく、産業廃棄物処理業者も含めてリサイクルのあり方を検討できる機会を設けていただきたい。 ● 一般廃棄物はリサイクルしやすいものが多いため、これを全てリサイクルできれば、京都市のリサイクル率は飛躍的に向上すると考える。業許可の件もあると思うが、企業の側も3Rに即して処理業者を選択できればと思う。 ● 分別ごみを出すのに洗ったり、紙で拭いたりするのも、エコ的にいえば、優しくないのではないか。 ● 電球等、割れ物の回収がきちんとできていないのが気になる。スーパー等で買うことが多いのに店で回収していない。個々の店も他所で買った品でも回収してもらえるようにスポットを増してほしい。 ● 市の事業所の分別はどうなっているのか。昔のまま分別を全くせずに業者がごみを取りに来ているのを見た時は驚いた。市民に協力を呼びかけるのであれば、京都市が先ず範を示してほしい。 ● リサイクル事業の現状を多くの市民の方に、見て、聞いて、感じてもらえる見学会や研修会を企画して、リサイクル事業の必要性和現実を認識してもらうとともに、新たなリサイクル事業のためのヒントなどが地域の中から創出してくるような仕組みを考案すべき。 ● 分別が徹底されている町内会に、何らかの経済的インセンティブを与えてはどうか。 ● リサイクルをさらに進めていくには、産業廃棄物と一般廃棄物の垣根を取り払って取組まないと実務的に進まないように感じる。 ● リサイクル品の認定制度など、リサイクル品の価値向上に関する取り組みを進めるべきである。 ● 指定ごみ袋を購入し分別してごみを出しているが、収集所に運ばれると一緒くたになると聞いている。本当だとすると無駄だと思う。 ● 家庭ごみの中に、紙くずが混在しているのを見かける。古紙回収の業者は、新聞以外に小さな紙くずも入れて出しても良いと言っている。このことを、もっとPRしてはどうか。
-------------------	---

② 分別・リサイクル	- リサイクルできるものが、まだごみとして捨てられている。ごみと資源でゴミ袋に価格差があることを利用して、資源を分別したほうが得であるとアピールできないか - 分別を理解していない方が多いと思う。分別を分かりやすく示したカラー刷りの配布物を定期的に配ってはどうか。 - 分別のPRを積極的に行うべきである。 - 再度、分別方法についてのパンフレットの配布が必要ではないか。 - 町内でもまだ分別が徹底されていない。 - 分別が本当に必要なのかも確信がない。はっきりとしたメリットを知らせてほしい。 - マンションなど業者が回収する際、分別がきちんとされていないと聞いたことがある。市の収集以外でも分別が出来る仕組みを徹底するべきである。 - 古紙や古布の回収について、住民の意識は高い。出し方や、回収後、どのように使用されるのかを知りたい。 - リサイクル社会の実現のため、行政と市民が話し合う機会が必要。 - ごみ分別の徹底が必要。 - 分別方法が理解しにくい。 - ペットボトルの回収時に、水洗いをする必要があるのかどうか知りたい。 - ごみ分別の徹底を進めてほしい。 - 容器等のリサイクルの徹底を進めてほしい。 - 環境にやさしいまちづくりのためにも、我々一人一人が小さなことからでも取り組み、リサイクル出来るものとの区別にもよく学び、もったいない精神のもと努力したい。 - マンション居住の市民は2Rになんの関係もなく、分別をせずに指定袋以外の袋でゴミを出している。 行政の基本原則は「公平」「公正」である。この事態の是正・正常化に取り掛かるべきである。 - なにが資源として利用できるのかわからないが、現行の分別方法からもっと踏み込んだ細かい分別が可能だと思う。 - 資源ごみの出し方の徹底のために、分別方法についてのパンフレットの再配布が必要ではないか。 - 分別が始まってから、資源ごみをスーパーの回収箱に持っていくようになった。廃食用油の収集を始めてほしい。 - 店舗に設置している資源ごみの回収箱についても、ごみ回収車のように巡回してくれると、もっと積極的に分別できると思う。 - 電池、携帯電話などを回収する場所をもう少し身近に設けてほしい。 - エコバスツアーに参加して、もう少し配慮してごみを選別しようと思った。 - 各家庭でしっかりとしたごみの出し方に注意をしなければならないと思った。 - 分別収集の徹底、特にワンルームマンションの学生に対して、分別の種類をもう少し細かくしてはどうか。
-------------------	---

② 分別・リサイクル	• 地域によっては古紙，廃食用油の回収を行っているが，より住民の意識の向上に努力する必要がある。 • マンション住民も，一市民として有料ごみ袋を使用して，同等の協力と恩恵を受けるようにすべきではないか。そうしないと意識の高揚が図れない。 • リサイクルに出すときに，できるだけ汚れを取り除いておく。 • リサイクルやごみの分別の仕方をもっと細かく説明したパンフレットがあるとよい。 • 古い携帯電話が家に放置してあるので地域で集めてほしい。 • 携帯やゲーム機などは販売業者か回収業者の方で処理すればよいと思う。 • 私たちが気をつけて分別するようにしたいと思う。 • 分別収集にだいぶ慣れてきたが，意外なものが入っていて驚いた。しっかり分別して出したいと思った。 • 小型家電の回収，早急をお願いします。 • ごみの分別の大切さを痛感した。 • 賃貸マンションのごみの出し方が問題ではないか。 • 携帯電話の回収をどうしたらよいか。 • 古い電話機も回収してもらいたいです。 • 民間業者の申し込みのごみは少なく，分別なしで出している所も多いようです。 • マンション等ではごみの出し方がまだ行き届いていないようです。 • 町内によっては，普通のアパートが問題になっています。オーナーに話し合いを行って頂きたい。 • 古紙の回収，雑誌・ダンボールなども，民間に任せずに市で回収できないか。 • 食品リサイクル法が施行され，平成 19 年の改定では更なる高い目標へと向かう中，減量や有効利用されずに，単なる焼却処理されている事態は許しがたいことである。この事態を改善しなければ，循環型社会推進基本計画などは名ばかりでないか。 • 京都市のごみの分別はかなりいい加減なものだと思う。循環型社会を目指すのであれば，分別をもう少し細かくして，よりリサイクルしやすいシステムを作るべきだと思う。 • ごみの分別について，少し甘いのではないかと思う。決められたことはきちんとやらせるような工夫が必要だと思う。 • コミュニティー回収制度をさらに推進していくために，コミュニティの協力に対して，行政からのサービスの充実や何らかの謝礼を出してはどうか。 • 長期的にこのコミュニティ回収制度を推進していくために，若い世代への広報（小学校への講演等）を行ってはどうか。 • アパートのごみ捨て場などの近くのごみ捨て場にも回収箱を置いてほしい。 • ごみの分別が大雑把なのでもう少し細かく分類する方がリサイクルしやすいのではないか。
-------------------	--

② 分別・リサイクル	● 缶やペットボトルを回収する際に数十円の返金を設けて、消費者のメリットを作ってどうか。 ● 学習会を開くより、市内の各店舗にリサイクルボックスを設置する方が効率が良いと思う。 ● 携帯やゲーム機などの精密機械の回収は、消費者にメリットを提示してほしい。 ● 分別に非協力的な場合はデメリットを提示してほしい。 ● 資源回収制度を住民に分かりやすく、取り組みやすいものにすることで、住民みんなに積極的に取り組んでもらいたいと思う。 ● ごみの分別についてさらに厳しくしていくことが必要だと思う。住民によってはしっかりと区別されていない方もいるので、広告などで呼びかけるなどしていけばいいと思う。 ● 人々が環境に興味を持ちエコ活動を自発的に行う意識作りが必要だと思う。そのためにごみの分別や、光熱費の請求時に、各家庭にエコ度合いを配布するなどして一人一人の意識を改善する必要がある。 ● 『ごみをリサイクルする一環として祭りを開催する』。実際に市民がリサイクルの現場を目にする機会が必要であると思う。一度に多くの人を訪れリサイクルのすばらしさをアピールしてはどうか。祭りの催し物の準備などを市民参加型とすることで、より一層のリサイクルに対する意識の定着に繋がると思う。 ● 京都市のごみ量の推移のグラフを見る限り、民間のリサイクルと家庭ごみが改善されていない。これからは、この二つに力を入れた方が良いのではないか。今回の新しい計画にはこの辺も考慮されているのかが分からない。 ● ペットボトル返金制度を導入してはどうか（所定のごみ箱に入れたら、キャッシュバックされる） ● 分別していないごみが目立つ。分別していないごみを捨てさせないように、何か対策をしてほしいと思う。 ● リサイクル推進するのは良いが、ごみを出す側（市民）にその効果が伝わってこない。もっと市民を巻き込み意識を改革する必要があると思う。新しい計画案も具体性が市民に伝わるかが疑問である。 ● ごみの分別や3Rの取り組みは、仕組みや効果がきちんと市民に理解され浸透している例は少ないと思う。本当に「環境にやさしい」とはどういうような仕組みであるかを示した上で、ごみの分別やリサイクルの計画を立ててほしい。 ● 実際に個人がどの程度の行動（分別や3Rへの参加）をすれば、どれだけの効果が得られるのかを示してほしい。その方が市民の活動への関心も高まる。 ● 市民に「自分たちの行動一つ一つが環境保全にこれだけ役に立っているんだ」ということを知ってもらうことが重要であり、それを通じて、分別や3R運動などの環境活動が当たり前の行動として定着して、初めて環境にやさしいまちになると思う。 ● 蛍光灯の回収を実施してほしい。 ● 市民が分かりやすいことを一義に、廃プラスチックの定義、排出方法、処理の一元化（自治体施設活用）が必要だと思う。
-------------------	---

② 分別・リサイクル	• インターネット、通信販売等によって義務外品が増加しているので、市町村によって回収する仕組みの確立が求められると思う。 • 食品リサイクル法について、自治体焼却施設の活用を求める。 • 依然多くの部分が焼却埋め立て処理されているので、今後頭打ちになったりリバウンドさせないためにも、まだ回収されていないごみや、実績の上がっていないもののリサイクル等に次々と施策を打っていかねばならないと思う。 • 今のごみの回収拠点で回収が行われれば、まさに自分のごみとの自覚により、リサイクルのモチベーションが上がり、回収量の増加が見込めると思う。 • 乾電池も改善、化学物質等も回収しなければならないと思う。 • 市民・事業者に分別排出を求め、環境意識を高め、有効利用をしやすくする方式こそが、循環型社会の基本であると考える。 • 京都市で缶・ビン・ペットボトルの混合収集と機械選別による方式がとられているが、これにより、循環意識を定着しにくくしていると共に、選別コストなどに多額の税金が費やされていると思う。 • 分別排出・分別収集方式と経費のかかりにくい分別収集方法の研究・実施の方向性を、今回の計画に審議会答申として明記してほしい。 • 事業系のごみ袋が未だに有料指定袋でなく、分別収集すれば資源として有効利用できるものまで、混合で収集され京都市のクリーンセンターで焼却されている。事業系の有料指定袋制度の方向性を改革に明記してほしい。 • 缶・ビン・ペットボトルの混合袋だし方式の見直し検討の方向性を明記してほしい。 • 家電リサイクル法を改定してはどうか(自動車リサイクル法に近いものとする) ・ 家庭では分別が厳しくなっているが、事業者はいろいろなごみを一緒に捨てており、業者もそのまま一緒に運んでいる。工場で受け入れる時点で、ごみを厳しくチェックすれば、事業者のごみ分別も進むと思う。 ・ 京都市の事業者ごみの処理料金は、他都市と比べて非常に安いと聞いたが、民間で再資源化する料金よりも安いと資源化が進まないと思う。民間の資源化施設を支援するとともに、京都市の事業者ごみの処理料金を、民間の資源化料金よりも値上げしてはどうか。 ・ 京都市には、市で回収しているマンションと業者が回収しているマンションがあるが、業者が回収しているマンションは分別ができていないので、できるだけ市で収集すればどうか
-------------------	--

③ 適正処理・エネルギー回収	• エネルギー回収については、民間の技術、知識、経営感覚を導入すべき。 • 適正処理については、民間の技術、知識、経営感覚を導入すべき。 • 不法投棄発見の投書箱を設置してはどうか。 • 一般廃棄物と産業廃棄物の区分けをなくし、一般廃棄物の有害な医療器具などのごみや、リサイクルできる小型家電製品などは、産業廃棄物として適正に処理できる仕組みを考案すべき。 • 資料中に何箇所か生ごみや紙類をバイオガスとしてエネルギー化することに触れているが、このような有効利用策を具体化して、その実現のために我々がどう取り組むかを示してもらいたい。 • 生ごみから取り出すエネルギーより生ごみからエネルギーを取り出すときに使うエネルギーの方が多くなるような気がする。 • ごみ箱・灰皿を町中に設置してポイ捨てを防ぐ。 • 不法投棄防止の観点では、建設リサイクル、処理状況のリアルタイムでの把握が必要だと思う。 • 電子マニフェストと合わせて紙マニフェストの受託処理業者が電子報告を行うことを義務付ける制度を確立することが重要だと思う。 • 医療廃棄物については、ハザードマーク等を付けた専用容器で安全性を確保した上で、家庭ごみとは別に収集する体制を確保する必要がある。 • （京都府が検討している）廃棄物業者情報の排出者への提供の取り組みに、京都市も協同で参画し、排出事業者が適正処理の情報を得やすくすべき。 • 京都市には多くのホテル・旅館が存在し、そこから多くの生ごみが出されている。これらの生ごみは京都市のごみ焼却施設で処理されている。燃えない生ごみを無理やり焼却するのではなく、コンポストや家庭生ごみのモデル分別実験をされているバイオガス化などにより、有効利用する方法を計画に記載してほしい。 • 全国に先駆けて乾式バイオガス方式による新エネルギーの生成の生ごみモデル分別の実施を踏まえて、混合収集ではなく、生ごみか又は汚れた紙ごみを含めたバイオウェイスト単独の市民による分別排出と分別収集方式を採用すべきだ。 • ごみの不法投棄防止、回収後の負担低減のため、デポジット制度を導入してはどうか。
-----------------------	---

④ 意識啓発・環境教育	● 市民への意識啓発、地域活動の核となるリーダー育成と確保について、個別、具体的に記載すべき。 ● どこで、どのようなことが可能か、経費、市民が得することなどの情報提供が必要である。 ● 市民への啓蒙活動に効果的な方法として、「3R検定」を「京都検定」レベルに引き上げてほしい。 ● 10人中9人の人が環境に心掛けても、1人が賛同していなければ無意味な活動になりがちであることから、京都市在住者・勤務者については、環境意識の向上に全員参加しなければならないという環境づくりが必要である。 ● 学校教育に環境をテーマとした科目の必修履修単位を増設し、社会人になる前に意識に改革を行っていく。 ● 営利目的が優先している傾向から環境美化活動等のボランティア活動の義務化など強制力のある指導も考慮すべきである。環境活動をしない事業主などは企業名の公開・改善指導命令・賦課金等の厳しい罰則を科してはどうか。 ● 市が計画を作っても、市内の住民や事業者が計画に理解、賛同し、行動を起こさなければ計画倒れとなる。そうならないよう、より分かりやすくより市民の実行しやすいものに作り上げて、環境にやさしい街づくりを実現してほしい。一市民として協力したい。 ● 小学校を中心として、子ども・親を巻き込んだ環境・ごみ教育の義務化をお願いしたい。社会人になる前に、環境に対する意識が自然とできるように、継続的な教育の機会を設けていただきたい。 ● 市民や事業者が自主的に取り組んでいる環境活動や情報をお互いに広めあえるとともに、コーディネートしてもらえらる仕組みの考えてほしい。 ● 今回のような見学会（上京エコバス）を頻繁にやってほしい。大変参考になり参加してよかった。 ● ごみ袋有料化後のメリットや、ごみ量の減量率などを多くの人に知らせる必要がある。 ● 幅広い年齢の人にとって分かりやすい仕組みにしないと意味がないと思う。決定した内容を言葉だけでなく、イラストを見せ、誤解のないようにしないと市民に広く浸透しない。広報やテレビ、ネット、ポスター、新聞などあらゆる媒体で周知を徹底すべき。キャンペーンガールがほしい。 ● ごみ廃棄の現状や具体的なリサイクル方法などを市民に伝え理解してもらうことで意識が変化し、意欲的に活動に取り組めるものと考えて。工場見学や講習会を開き、多くの人に参加してもらえば少しずつ状況の変化が見られると思う。 ● 市民はまだ環境のためといっても漠然としてあまり実感がないと思う。何らかのメリットが見える形で存在しないと長続きしないと思う。 ● ごみの削減にあたり、地球温暖化や化石資源の枯渇などの大きな問題を掲げるより、もっと身近で直接生活に対して影響を与える問題を提示した方が、市民の意識が高まるのではないか。
--------------------	---

④ 意識啓発・環境教育	• カタログには、システムの経済性の評価を含めたライフサイクルアセスメントをし、具体的案や値を載せるべきである。 • このプロジェクトをパンフレットを読むまで知らなかったのも、宣伝が大事ではないかと思う。 • 抽象的なコンセプトよりどこで、何をやっているか等の具体的な情報があればいいと思う。 • 子供の頃からエコやごみの減量などの話を頭に入れておけば、自然に意識できると思う。漫画などで伝えていくのはどうか。 • どの年齢層にもしっかりと理解でき、意識が高まるように、市民から沢山意見を聞いて協力できるようにしてはどうか。 • 新京都市循環型社会推進基本計画（仮称）には、京のさんばい21も包含し、京都市域から排出される全ての廃棄物について、排出から処理処分まで市民に公開することが必要と考える。 • 会長には計画の進捗管理にも重点を置いて頂き、常設の進捗管理部会を設置し、その実働部隊として市民によるごみ減量・リサイクル監視員の創設の検討を基本計画に盛り込んでもらいたい。 • 住民の取り組みを促すためにも、地域単位での取り組み推進が必須。 • エコバスツアーに参加した方は、きちんと分別していると思う。参加していない人の意識の改善が必要である。 • 町内でもごみ出しのルールが徹底されていない。収集日以外のごみ出し、袋の間違があると、収集されずに残っているときがある。 • エコバスツアーに参加。いろいろと説明していただき勉強になった。今後とも環境政策に協力していくつもりだ。 • 京都市の市民に加え観光客から出ているごみも含め、年間にどんな種類のごみがどれだけ出ている、それに対して分別や3R運動などの環境活動をどのように取り組めば、何のごみがどの程度削減できるのかを開示してほしい。
--------------------	---

⑤ 温暖化対策	• 市内中心部にはバイク・車の乗り入れの禁止，公共交通機関の充実（地下鉄の環状線化），京都市民の市バスの無料パスポートの発行，アイドリングを行うタクシーの減車，カーシェアリング箇所の増設で休日ドライバーのマイカーを減らす，等の対策が必要ではないか。 • 以前，試験的にされていた繁華街への車乗り入れの禁止（市バス・タクシー・障害者用車両については乗り入れOKとする）を土日に実施していただきたい。 • 月に一度でも車通勤をやめて公共交通機関での通勤を促進させるように市バスや地下鉄の割引きなどを検討していただきたい。 • 坂の勾配をなくす，また緩やかにするべきだと思う。 • 公共の乗り物を距離あたりで決めるのではなく時間で決めてはどうか。（例えば，90分フリーパスなど） • 道を整備して交通渋滞を減らし，CO2削減させる。 • 京都市内は一方通行が多い。このような交通事情にあると，排ガスが多量に京都市を汚してしまう危険性があると思う。
----------------	--

⑥ その他	● 環境局の職員の資質向上が最優先ではないか。 ● 事業系ごみの収集は区単位で行うべき。 ● 行政はしっかりフォローする立場で働いてほしい。 ● 曖昧な点を排除し、余計な労力をかけないようにすることが大切。 ● 排出者が理解と協力をもって取り組むことで、多くの工夫が生まれてくると思う。また、取り組みの単位は、地域（地区）単位が適切である。 ● 全体的に、費用対効果を軽視していないか。民間に分別回収および 3R、エネルギー回収を全て任せるべき。 ● 左京ボイス不要。その他各部署別啓発チラシが多すぎる。 ● 「8時までに出してください」といいながら、回収時間が遅い。特にプラスチックの場合、軽いので袋が飛散して困る。 ● 根本的な社会全体を見据えた改革が必要である。20 年後・30 年後の将来の京都市の未来像を明確にしたうえで、現在の活動だけでない行動計画を作成していただきたい。 ● ボランティア活動の奨励、地域自治体として参加する環境ボランティアを実施してはどうか。 ● 一般廃棄物収集・産廃収集および処理といった許可を与えている業者が、本当にリサイクルや適正な許可業務を行えているかどうかを定期的に調査し指導していく必要がある。 ● 行政機関の廃棄物においても、単なる価格重視の入札制度が実施されているが、民間企業同様、収集・処理業務を適正に行えているかどうかを契約材料の一つとして重要視していくべき。 ● 意見は取りまとめるだけでなく、充分活用していただきたい。 ● 指定袋は価格が高すぎる。せめて 1/2 ぐらいにすべき。また、市に入る袋代の収入をどう使っているか説明してほしい。 ● 3R 検定の合格者を有効に活用できる仕組みを考案すべき。 ● 新規の一般廃棄物業許可を与えることにより、既得権益で守られている一般廃棄物処理業界に公正な競争の機会を設けてはどうか。 ● 水俣市のような家庭版 ISO を導入してはどうか。 ● 民間事業者を積極的に活用する姿勢が必要である。 ● 京都市はごみ袋の収入が大変多くあり、環境基金に積み立てると聞いているが、高齢の年金生活者は、ごみ袋代の負担に困っている。環境基金もごみのリサイクルも大切だが、市民は袋代を安くしてほしいと思っている人が多い。 ● 家族の人数が少ないのに、収集の度に大きい袋（45 リットル）のごみを出している家庭がある。分別せずに一緒くたに入れているのではないかと思うが、個人では注意しにくい。 ● 人が主役になるためには、環境にやさしいという事を見える化する必要があると思う。（例えば、毎回出すごみの量を測定する、電気・ガス・ガソリンの使用量から CO2 排出量を算出し、そのデータを昨年度と比較、他の家庭と比較するなど）
--------------	--

⑥ その他	• テレビでは良いところばかりを扱っている。 • 焼却施設の近隣の方々に、感謝の心をもてるように地域で考える必要がある。 • 細かなことが理解でき参加してよかった。（上京エコバス） • 有料指定袋の負担を軽くしてほしい。特に黄色袋。 • ごみ袋以外に、シールを貼ってごみを出せるように考えてほしい。 • 高齢者対策を十分に配慮する必要があると思う。 • リサイクルと消費を促進といって金融の活発化と言われることが矛盾しているように思われる。 • 行政は長期的な視点と強い意思を持って計画の立案と推進をお願いします。 • あらゆる廃棄物を他の産業分野の燃料として活用し、廃棄物をゼロにすることが必要である。そのためにも産・学・官で連携を図りエコタウン事業を整備することが重要であると思う。 • 左京区在住。黄色看板のところに置いてあるごみ（曜日違いで出したもの）がかなり目に付く。職員さんの目配り気配りを期待したい。看板が何ヶ月も前から外れていて見苦しく、見栄えも悪い。 • ごみの排出削減の一つとしてごみ袋の有料化は有効であったと思うし反対ではないが、市民の負担が少なくなるような方法でお願いしたい。 • 京都では近年、ごみの分別の強化、廃品回収、電機スタンド（急速充電式）の導入など環境を意識した取組みが目立っており感心している。これからは今まで同様に、環境にやさしい取り組みを行い、市民に環境に対するアピールやエコに導入しやすいような政策を行ってほしいと思う。 • 現在、3 R（Reduce, Reuse, Recycle）が提唱されているが、これに Repair（古きものを修正して長く使う）、Refuse（不要なものはもらわない）を取り入れた、『5 R』の概念を取り入れることで循環型社会システムの実施により近づくのではないかなと思う。 • ごみの削減目標値を設定するのに用いた基準はなんなのか疑問に思う。 • 概要の提案は実現していれば環境にやさしいまちづくりに繋がると思うが、どれもまだ漠然としているようなので、今後さらに具体的な案が必要だと思う。 • ごみ収集車の臭いが非常に気になる。臭いを抑えることができる袋などがあったらよいと思う。 • ごみを収集してくれる方の給料は高くしてあげたらいいと思う。 • 朝方の京都市内はからすがごみ袋を荒らして、それが散らかっている。何らかの対策はないのか。 • 私たちの税金を有効に使ってほしい。 • 有料ごみ袋をもう少し安価にしてほしい。 • ごみ袋の有料化は未だに納得は出来ないが、無駄に使いたくないのでごみを詰め込んでいる。何枚か支給してもらえるとうれしい。 • 京都市の取り組み事例が全国に広まることを求める。 • 産業廃棄物までクリーンセンターで受入れるのは不適切だと思う。
--------------	--

⑥ その他	• 環境先進都市を目指す京都市として環境政策局の組織機能に，京都大学などの連携の下，先進的な循環製品（長寿命製品も含む）や循環技術の開発も含めた環境産業の促進・誘導・支援機能を創設し，循環型社会の形成に向けて，その実効性を高めるべき。 • 地元経済の活性化にも繋がる環境政策が企画立案誘導調整できるように，審議会として強く要請してほしい。 • 審議会はもう少しチェック機能を充実し，進んでいない項目の原因を解明し具体的な計画策定を行ってほしい。 • ごみの回収拠点を設けてはどうか。 • 容器の輸入に関税をかけてはどうか。 • 事務所から排出される容器包装リサイクル法の廃プラスチックが，産業廃棄物として処理されていることに矛盾を感じる。
--------------	--